

R

e

C

vol.
703

The
Record
RIA J

2018 June

6

o

r

The
u

| 2017 年世界の音楽産業

| 「芸術体験ひろば」開催

| ACA「ほんと？ホント！フェア in 秋葉原」開催

| RIS 規格の概要

RIA
Recording Industry Association of Japan

6

June

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 2017年 世界の音楽産業

特報

9 「芸術体験ひろば」開催

ACA「ほんど?ホント!フェアin 秋葉原」開催

10 RIS規格の概要

11 私の一枚 season 2

12 Data File

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

4/24 Tuesday

業界紙懇談会開催

4月24日、当協会は、東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルにおいて業界紙懇談会を開催した。冒頭、重村会長より平成30年度のスタートにあたって、当協会の担う役割や本年度の方針が述べられ、続いて、原専務理事、高杉常務理事、畑理事・事務局長より事業計画の詳細について説明が行われた。本年度の事業計画は本誌4月号に掲載の通りで、その中で、新規の需要喚起施策として取り組む「MUSIC WEEK」や2017年よりスタートした「Coming Next Artists」の継続展開について、また著作権関連トピックの解説など、各テーマ毎に説明が行われた。

今回の業界紙懇談会には11社14名の記者が出席し、活発な質疑応答、意見交換がなされた。



5/3~4 Thursday Friday

IFPI

国際演奏権委員会開催

5月3日・4日の2日間、ポルトガル・リスボンにおいてIFPI 国際演奏権委員会(Global Performance Rights Committee)が開催され、当協会著作権・契約部の苅部契約担当課長と西村部員が出席した。この会議は、各国で集中管理されているレコード使用料(放送・演奏・配信分野のレコード著作隣接権料)について、徴収・分配面の課題を検討する場として毎年開催されており、諸外国のレコード権利管理団体およびメジャーレーベルの担当者など約110名が参加した。

会議では、IFPI事務局から2017年の世界音楽ソフト市場及びレコード使用料徴収額について報告が行われた後、使用料分野別に各論のディスカッションが行われた。放送分野については、ラジオ放送を巡る市場動向や聴取状況について国別の紹介があったほか、衛星デジタルラジオのレコード使用料に関する昨年12月の米国著作権使用料委員会決定と今後の見通しについて説明が行われた。また、世界各国で導入されているレコード演奏の著作隣接権については、徴収業務の効率化に向けた各国取り組みのプレゼンテーションがあり、特に音楽著作権管理団体との連携や小規模利用者との契約手続について、活発な意見交換がなされた。そのほか、各国の分配業務の効率性・透明性を確保するための取り組みとして、IFPI事務局が検討を進めている音源メタデータの連携構想について、情報共有が行われた。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

経済産業省からのお知らせ

経済産業省では、平成30年7月1日現在で統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査として、「平成30年特定サービス産業実態調査」を実施します。本調査は、サービス産業の実態を明らかにし、サービス産業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としております。調査対象事業所・企業の方々には、6月中旬頃から順次、調査関係書類を送付させていただく予定ですので、ご回答をいただけますようよろしくお願いいたします。

コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業

当協会を含む音楽関係団体等で構成する権利情報集約化等協議会が平成29年度文化庁実証事業の一環として期間限定で開設した、権利情報一括検索サイト「音楽権利情報検索ナビ」に関する報告書が、この度文化庁HPで公開された。(同実証事業については、本誌2月号に詳細を掲載)



▶コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業報告書

http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/chosakuken/

2018年4月度有料音楽配信認定 米津玄師「Lemon」がシングルトラック最速ミリオン認定を達成

米津玄師「Lemon」は、2018年2月12日の配信開始から78日でのミリオン認定となり、2014年の認定基準変更後シングルトラックとしては最速でのミリオン認定作品となった。本人コメントは以下の通り。

たくさんの人に届くものになるように、と願いながら作ったので、とても光栄です。独りよがりにならず、周りに目を向けながら、だけど自分にしか作れないものを作り続けることができたらいいなと思っています。

米津玄師

Coming Next Artists情報

音楽ナタリー更新中

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事、コラムが公開中です。是非ご覧ください。

- #31 ▶ **ベボガ!** (日本コロムビア)
パーソナリティ / ビエール中野
- #32 ▶ **Ryu Matsuyama** (バップ)
パーソナリティ / Tom-H@ck
- #33 ▶ **ZAQ** (バンダイナムコアーツ)
パーソナリティ / Tom-H@ck

コラム#7

宣伝担当が語る、ベボガ!
メジャーデビューを盛り上げる5つの施策



Coming Next Artists
(音楽ナタリー内)

<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists>

2017年 世界の音楽産業

IFPI(国際レコード産業連盟)は、年次レポートの「Global Music Report 2018」を発行した。2017年の世界の音楽産業概況をダイジェストで紹介する。

総売上は3年連続でプラス成長、ストリーミング売上が初めてパッケージ売上を上回る

2017年の全世界音楽売上は、前年を**8.1%上回る172億7,000万ドル**となり、3年連続での高成長となった。IFPIの調査によれば、音楽市場TOP20カ国のうち17カ国、全60カ国のうち49カ国で売上が伸長した。

音楽配信売上は19.1%増の94億ドルとなった。特にここ数年、音楽ストリーミングサービスの利用と収入が急速に伸び、2015年と比較すると全世界でその売上は2倍以上となった。その結果、2017年にはストリーミング売上が初めて単独でパッケージ売上を超え、音楽産業の最も重要な収入源となっている。IFPIが統計をとる全ての市場においてストリーミング売上が増加しており、その成長率は前年比41.1%増、総売上は66億3,000万ドルに達している。長期的でゆるやかな減少が続くパッケージ売上(前年比5.4%減、総額51億8,000万ドル)と、2007年以降初めて20億ドルを割り込んだダウンロード売上の急速な落ち込み(前年比20.5%減)があったものの、ストリーミング売上の伸びはこれらを穴埋めしてもなお余りあるほど大きかった。

演奏権収入(放送や公衆演奏で使われる音楽からの収入)は前年比2.3%増の23億6,000万ドルで、6年連続の増加となった。シンクロ収入(テレビCM、映画、ゲームなどで音楽を使用する際の使用料)は9.6%と大きく伸長し、3億3,310万ドルに達した。

■2017年世界音楽売上 金額:10億USDドル

パッケージ売上	5.18 (-5.4%)
音楽配信売上	9.40 (+19.1%)
演奏権収入	2.36 (+2.3%)
シンクロ収入	0.33 (+9.6%)
合計	17.27 (+8.1%)

※カッコ内は前年売上からの増減
出典:IFPI「Global Music Report 2018」

主要市場概観

アメリカは2016年の52億5,000万ドルから59億2,000万ドルへと前年より12.8%増加し、世界最大の音楽市場の地位を固めた。売上増の主な要因はストリーミングであり、特にサブスクリプションが売上を前年より59.6%伸ばすなど音楽配信の重要性が増しており、2017年はアメリカの売上全体のうち75.0%を占めるに至った。

日本の売上は前年比3.0%減の27億3,000万ドルとなった。これは、日本の音楽市場における総売上の72.3%を占め、依然として主体となるパッケージ売上が19億7,000万ドルに減少したためである(前年比6.1%減)。ストリーミング売上は前年比27.8%増と大幅に伸長したが、他の売上減少を埋め合わせるには至らなかった。日本ではストリーミングが市場全体の10%にも満たず、市場全体の売上に占める割合はTOP40カ国中最低となっている。

世界第3位の市場となった**ドイツ**は、2016年に13億4,000万ドルだった総売上が2017年は前年比1.5%減とわずかに落ち込み、13億2,000万ドルにとどまった。ドイツ市場の43.0%を占めるパッケージ売上の前年比13.0%減に加え、ダウンロード売上(同17.4%減)、演奏権収入(同9.9%減)の影響がスト

リーミング売上の同46.2%増によって軽減された形である。

イギリスは3年連続で売上を伸ばした。定額制のオーディオストリーミングを中心としたストリーミング売上の目覚ましい伸び(前年比41.4%増の5億60万ドル)を受け、市場全体の売上が前年より9.2%増加し、13億1,000万ドルに達した。アナログレコード人気により一層の高まりがみられたほか、CDも変わらずにはあるが売上を伸ばした。エド・シーラン、ラグンボーン・マン、サム・スミス、リトル・ミックส์といったイギリス人アーティストのリリースが追い風となり、イギリスにおいて2003年以來のCDアルバム売上伸長となった。イギリス音楽産業に対するアナログレコード売上(7,090万ドル)の貢献は、動画ストリーミング売上(3,480万ドル)の2倍に達する。

フランスは世界第5位の音楽市場を維持した。2017年の総売上は前年比1.7%増の9億2,510万ドルとなっている。フランスでは、パッケージ売上が前年より4.7%減少した一方で、ストリーミング売上の24.1%の伸長によって音楽配信売上全体が15.4%増加したが、依然としてパッケージ売上(3億3,650万ドル)が音楽配信売上(3億1,700万ドル)を上回っている。フランスでは演奏権が相変わらず存在感を示しており、総売上の26.7%

を占めている。

韓国は2年連続で好調を維持し、世界の音楽市場での順位を2つ上げて第6位に躍進した。2017年の総売上は前年比45.8%増の4億9,440万ドルに達している。前年比47.0%増の2億8,160万ドルで韓国の総売上の半分以上を構成するストリーミング売上だけでなく、パッケージ売上の顕著な伸びも市場拡大の要因となった。2017年のCD売上は前年比47.6%増の1億5,850万ドルで、韓国音楽市場全体の規模は2013年と比べ2倍以上となっている。

カナダの総売上は前年比14.0%増の4億3,720万ドルと3年連続で伸長した。ストリーミング売上と演奏権収入の伸びが大きく、前年より微減となったパッケージ売上を埋めあわせた。

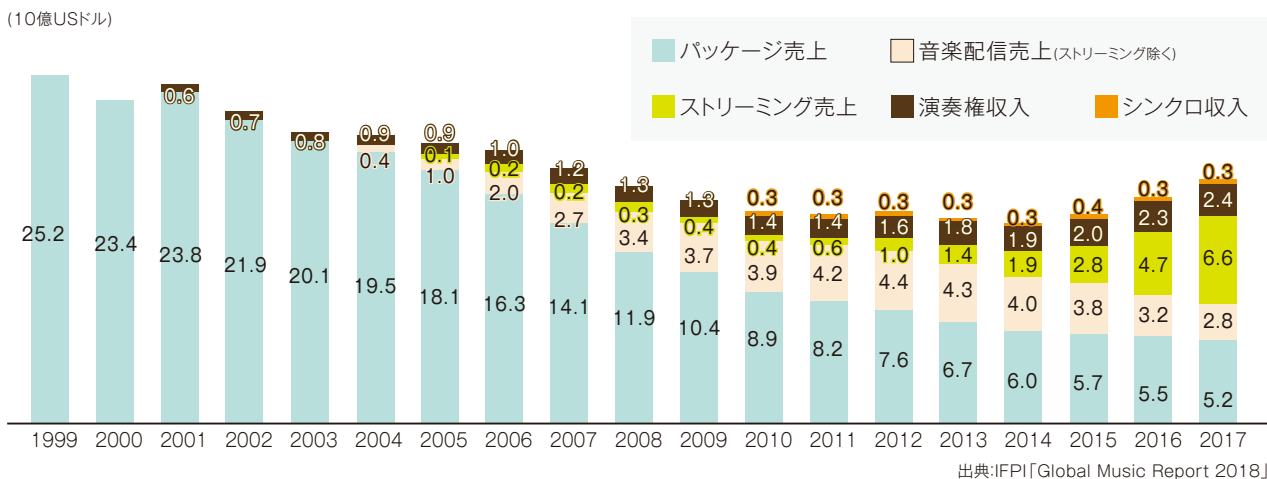
オーストラリアも同様の状況で、音楽市場の売上は前年比13.4%増の4億1,290万ドルに達したが、ストリーミング売上と

演奏権収入の増加がパッケージ売上の減少を補った。

ブラジルでは、ストリーミング売上と演奏権収入が増加した結果、全体売上が前年比で17.9%押し上げる2億9,580万ドルとなり、前年の売上微減から成長へと引き戻し、世界の市場TOP10カ国に食い込んだ。定額制オーディオストリーミングの売上は前年比71.1%増となり、音楽配信売上が初めて市場全体の半分以上を占めた。

中国は市場全体の売上を伸ばし、ブラジル同様音楽産業市場TOP10カ国の仲間入りを果たした。2017年の全体売上は前年比35.3%増の2億9,230万ドルであった。全ての主要カテゴリーにおいて成長が見られたが、サブスクリプションと広告型の両方でストリーミングの人気が高まったことがその大きな要因となっている。

■ 世界の音楽売上金額の推移(1999年-2017年)



■ 2017年 音楽売上 TOP20

※2016、2017年ともに2017年レートで換算(1USD=112.17円)

順位	国名	卸価格ベース		収入シェア			
		USD(百万)	現地通貨(百万)	パッケージ売上	音楽配信売上	演奏権収入	シンクロ収入
1	アメリカ	5,916.1	5,916.1	15%	75%	7%	3%
2	日本	2,727.5	305,940.3	72%	21%	5%	1%
3	ドイツ	1,323.1	1,173.5	43%	36%	20%	1%
4	イギリス	1,310.7	1,018.1	30%	50%	18%	2%
5	フランス	925.1	820.4	36%	34%	27%	3%
6	韓国	494.4	560,139.9	37%	59%	4%	0%
7	カナダ	437.2	567.6	21%	65%	14%	1%
8	オーストラリア	412.9	538.9	19%	68%	11%	2%
9	ブラジル	295.8	944.9	5%	60%	34%	0%
10	中国	292.3	1,975.3	3%	90%	7%	0%
11	オランダ	269.5	239.0	22%	50%	27%	0%
12	イタリア	247.9	219.8	39%	36%	22%	3%
13	スペイン	205.8	182.5	26%	49%	24%	2%
14	スウェーデン	199.5	1,705.7	10%	72%	17%	1%
15	ノルウェー	139.0	1,150.0	9%	71%	19%	1%
16	デンマーク	137.9	909.9	7%	56%	36%	1%
17	スイス	137.8	135.7	27%	52%	21%	0%
18	メキシコ	137.0	2,592.1	15%	79%	4%	1%
19	インド	130.7	8,520.6	7%	78%	9%	6%
20	アルゼンチン	130.0	2,153.6	8%	31%	60%	1%

出典:IFPI「Global Music Report 2018」

フォーマット別の音楽配信売上:定額制オーディオストリーミングが貢献

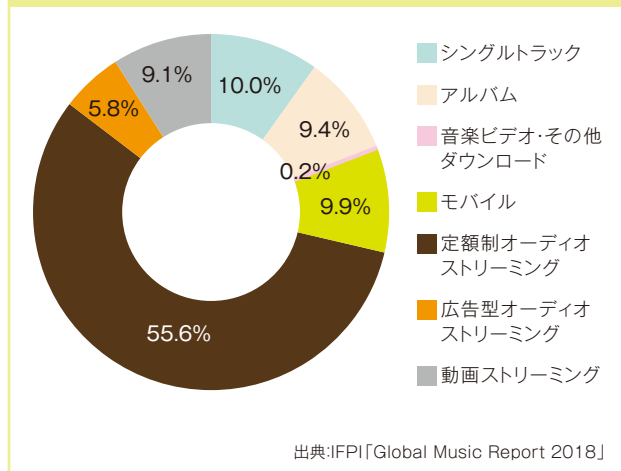
2017年の音楽配信売上は世界の音楽売上全体の半分以上(54.4%)を占める前年比19.1%増の94億ドルにのぼり、演奏権収入とシンクロ収入を除く全収入のうち3分の2に迫る割合(64.5%)となった。

2017年に音楽配信の急成長を促したのは、前年から続くストリーミングの好実績である。ストリーミング売上は2016年の47億ドルから41.1%増加し、66億3,000万ドルとなった。これは2017年の全音楽配信売上の70.5%(2016年は59.6%)、音楽総売上の38.4%を占める。

2016年と同じく、2017年もストリーミング総売上の大部分(78.8%)は有料の定額制オーディオストリーミングによるものだった。すなわち、Spotify Premium、Apple Musicなどのサービス、あるいは中国のQQMusicやKuwo、韓国のMelOnなどのサービスが提供するVIPアカウントに登録したユーザーからの収入である。この種の音楽ストリーミングの2017年売上は、前年比45.5%増の52億2,000万ドルに達した。本ページ下のグラフに示した主な地域では、定額制オーディオストリーミング売上が、ラテンアメリカを除く全地域でストリーミング総売上の4分の3以上を占めている。

広告型オーディオストリーミング(Deezer、Spotify、Neteaseなどのユーザー無料サービス)の売上も、2016年の5億1,730万ドルから2017年は5億4,810万ドルへと6.0%伸長した。この分野は2016年にストリーミング総売上の11.0%を占めていたが、2017年は成長が鈍化し、全体の8.3%にシェアを落とした。ヨーロッパや北米のように、毎月支払いを行うための必要なインフラを整備する余裕がなく、場合によってはインフラに参加することすらできないアジアとラテンアメリカなどの地域において、広告型ストリーミングは最も重要である。なお、定額制オーディオストリーミング売上より広告型オーディオストリーミング売上が大きいのは全世界でポリビア(IFPIで統計を調査する59

■ 2017年 世界音楽配信売上フォーマット別シェア



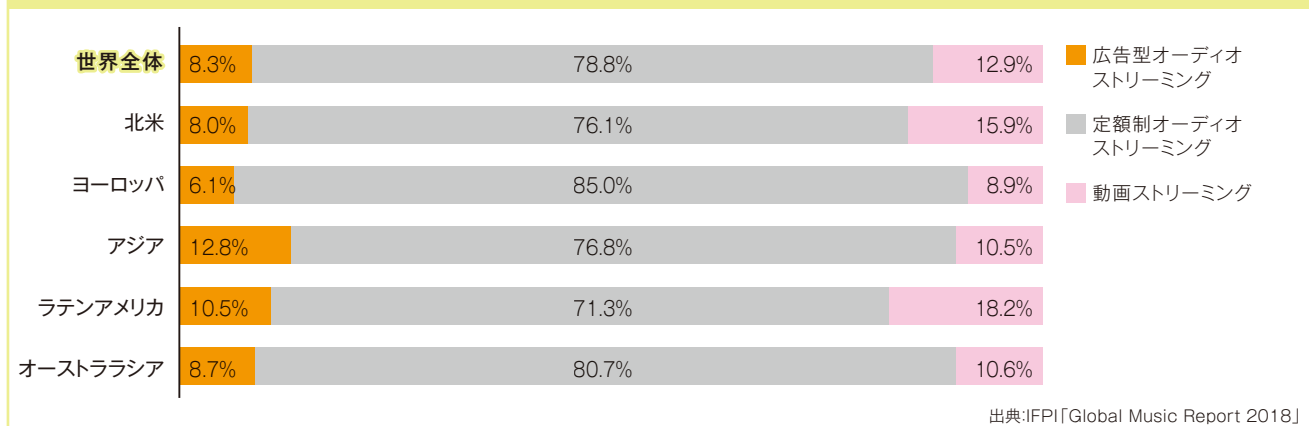
カ国中58位)のみとなっている。

2017年の動画ストリーミング売上は前年比44.6%増の8億5,730万ドルとなり、ストリーミング総売上に占める比率が若干上昇した(2016年:12.6%、2017年:12.9%)。アメリカ以外では、インド、日本、ブラジル、ドイツで動画ストリーミングの堅調な成長が見られた。ドイツでは、GEMAとYouTubeが初めて通年契約を結んだことが影響した。

ダウンロードの売上は前年比20.5%減の18億4,000万ドルとなり、5年連続で減退した。現在、音楽ダウンロード売上は音楽配信売上全体の5分の1未満(19.6%)であり、音楽売上全体では10.6%を占めるに過ぎない。

その他の音楽配信売上(音楽配信全体の9.9%)は、主にPandoraなどのインタラクティブ・ラジオサービスの売上が占める(ただし、オンデマンド・オーディオストリーミングサービスであるPandora Premiumの売上はストリーミングとして分類されている)。

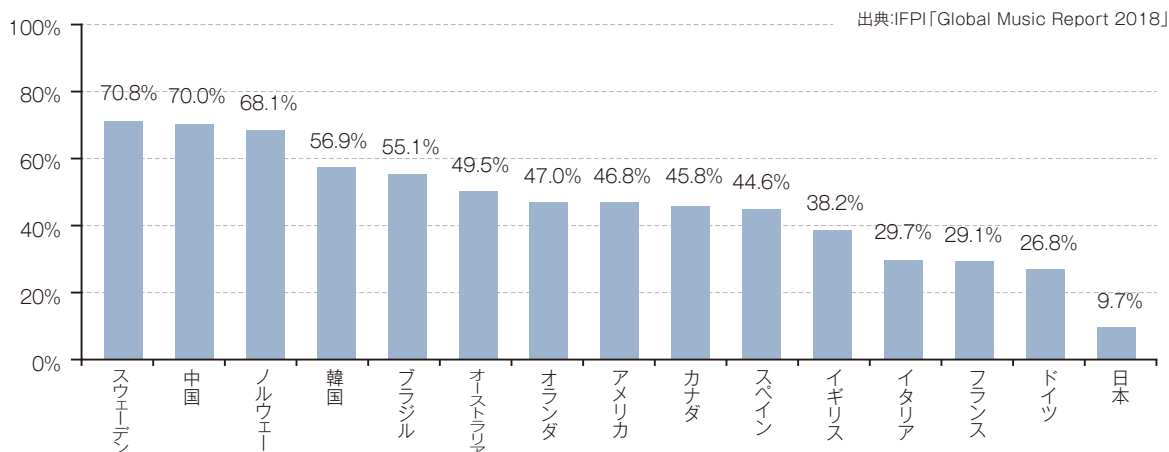
■ 2017年 フォーマット別ストリーミング売上シェア



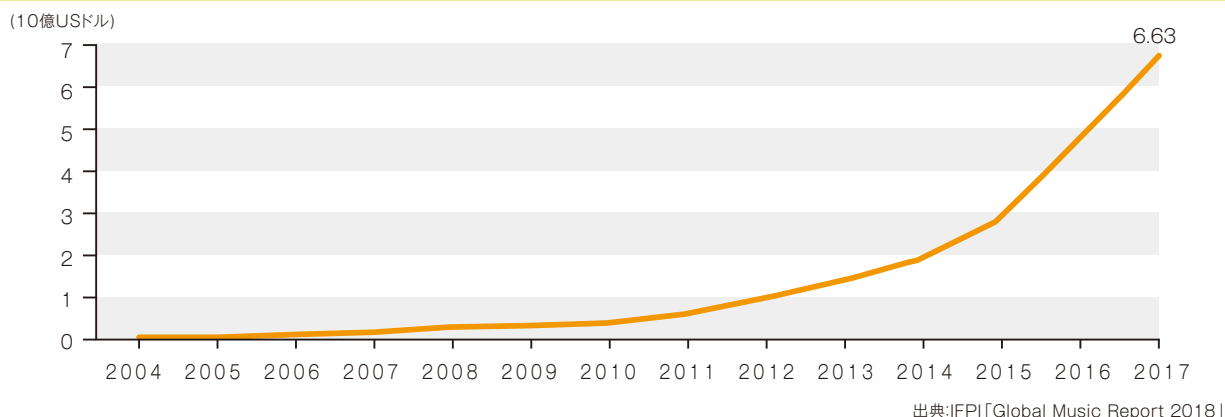
<世界の有料サブスクリプション会員数>

2017年は全世界でストリーミングを利用する音楽リスナーが大幅に増加したことが判明した。IFPIの加盟レコード会社と音楽サブスクリプションサービスから収集した全世界のデータによれば、2017年末の時点で全世界に有料サブスクリプションサービスのユーザーが**1億7,600万人**存在すると推定される。これは、2016年末の1億1,200万人から**57.1%の増加**となる。

TOP15市場における国別ストリーミング構成比(2017年)



ストリーミング収入の推移(2004年~2017年)



パッケージ:高まるアナログレコードへの関心

パッケージ売上は18年連続で減少している。2017年のパッケージ総売上は51億8,000万ドルで、5.4%(2億9,470万ドル)減となった。パッケージ人気は長期にわたっているが、近年、その減少幅は目に見えて小さくなっている。シングルとアナログレコードは2017年にいずれも売上を伸ばした。シングル売上は5.9%増の3億7,460万ドルで、オーストラリア、カナダ、フランスなど世界25カ国で売上が伸びている。アナログレコードも昨年に続いて堅調に伸び、22.3%増の6億3,140万ドルを売り上げた。

アナログレコードは多くの国で消費者の関心を惹きつけている。2017年、アナログレコード売上は6億3,140万ドルとなったが、これは2016年の5億1,610万ドルから22.3%の増加である。販売枚数は、2016年の3,660万枚から15.6%増加し、4,230万枚となった。

アナログレコード売上が12年連続で伸びたことは、同フォーマットが、パッケージ売上だけでなく業界全体の売上に占める割合も大きくなったことを意味しており、2017年の全パッケージ売上の12.2%(2016年の9.4%から上昇)、音楽売上全体の3.7%(2016年の3.2%から上昇)を占めるに至った。

近年、アナログレコードは、主にコアな音楽ファンやDJ、オーディオマニアが購入するニッチな商品という立ち位置から音楽産業の主流に近い部分へと存在感を増しており、アナログLPレ

コードは、今や多くの国々で音楽を楽しむ環境の一つとして認知され、理解されるようになってきている。最新アルバムもポピュラーなレガシーアルバムもアナログレコードで制作され、限定版がたちまち売り切れることもある。多くの地域でプレス工場がキャパシティの上限に達しているという状況に対応すべく、2017年にはカナダやオランダから韓国、日本に至るまで、世界中でプレス工場が新たに稼働を開始した。

2017年 アナログレコード市場TOP10

	国	数量 (100万)	USドル (100万)	パッケージ売上に占める割合(%)
1	アメリカ	17.4	247.7	27.6%
2	イギリス	5.2	70.9	17.7%
3	ドイツ	3.3	51.8	9.1%
4	フランス	3.2	38.8	11.5%
5	日本	2.4	33.0	1.7%
6	カナダ	1.8	27.4	30.4%
7	オランダ	1.3	18.1	30.4%
8	イタリア	1.2	18.1	18.9%
9	韓国	1.1	19.9	11.0%
10	オーストラリア	0.8	14.4	18.7%

出典:IFPI「Global Music Report 2018」

アジア・オーストララシア市場概況

アジアとオーストララシア(オセアニアのうち、オーストラリア大陸とタスマニア・ニュージーランド・ニューギニアおよび周辺の島々の地域)では音楽総売上が前年と比べ5.4%増加し、44億ドルとなった。多くの国においてストリーミングが好実績を上げたことが追い風となったが、日本におけるパッケージ売上の緩やかな減少がブレーキとなった。地域別では、韓国、インド、中国が売上を大きく伸ばしたアジアが前年比4.5%増の39億2,000万ドルとなった。一方、オーストララシアは、オーストラリアとニュージーランドがともに二桁成長を記録し、前年比13.4%増の4億8,440万ドルとなった。

アジア市場単独で見た場合、パッケージ売上は56.5%を占めるが(2016年の61.3%より微減)、これは主に日本の音楽産業の規模と構造に起因している。日本の音楽市場は現在もパッケージ販売が中心で、アジアとオーストララシアにおける2017年音楽総売上の61.9%を占めた。日本の売上はアジア市場の69.6%を占め、さらにそのパッケージ売上においては89.0%に当たるが、こうした状況が地域のデータを歪ませている。日本と韓国の一部でのパッケージ人気を除けば、同地域は音楽配信の売上が圧倒的に大きい。

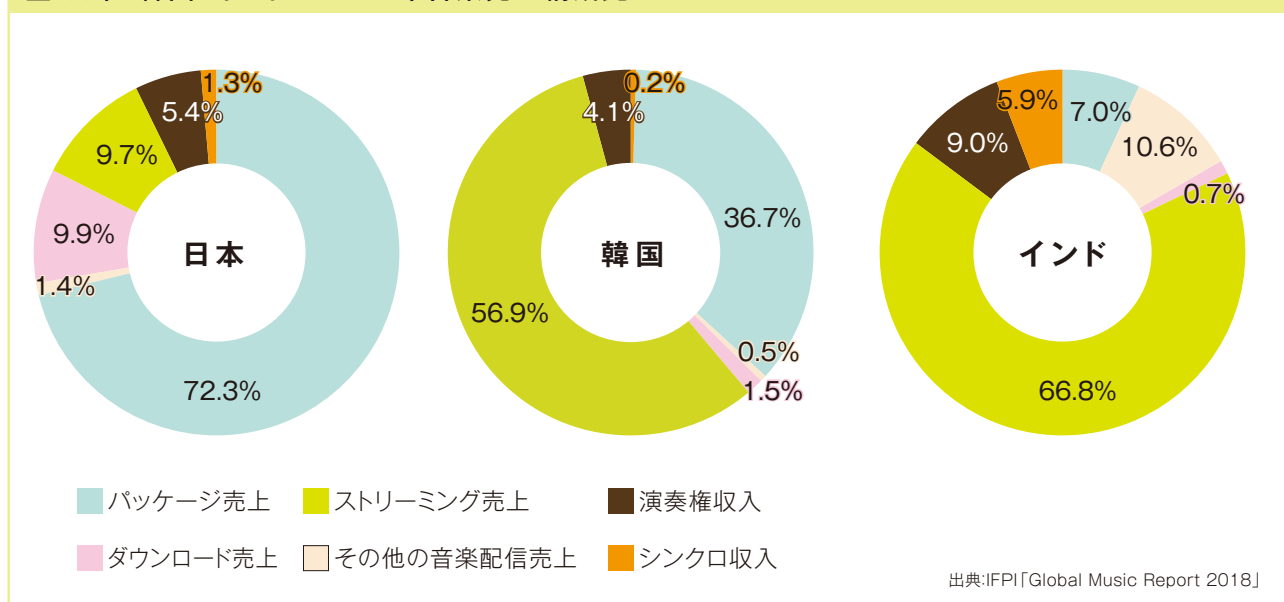
次ページ掲載のグラフが示すように、アジア地域全体を分析した場合、2017年の売上はパッケージが過半数の56.5%で、ストリーミングが25.0%、次いで演奏権収入(6.0%)、シンクロ収入(1.2%)となった。しかし、この分析から日本を除外すると、そこには全く異なる状況が現れる。すなわち、2017年のアジアのパッケージ売上は全体の5分の1である20.4%に過ぎず、ストリーミングが単独で売上の59.9%を構成し、圧倒的に大きな収入源となるのである。特に、オーストララシア(ストリーミング売上は前年比60.2%増)、インド(同60.8%増)、インドネシア(同79.2%増)が著しい成長を見せた。

2017年もアジア最大の音楽市場は日本であった。日本の売上はアジア第二位の市場である韓国の5倍以上にも及ぶ。全世界で最高の比率である市場全体の72.3%を占めるパッケージ売上は前年から6.1%減少し、19億7,000万ドルとなった。パッケージ売上減少の主な要因は、前年比22.2%減の3億8,730万ドルにとどまった音楽ビデオ売上である。なお、2017年の全世界音楽ビデオ売上の79.3%を日本が占める。さらに、日本のCD売上は前年より1.6%減少し、12億2,000万ドルとなった。アナログレコードは日本の消費者の心を捉え続けており、前年比51.9%増の3,300万ドルへと売上を伸ばした。

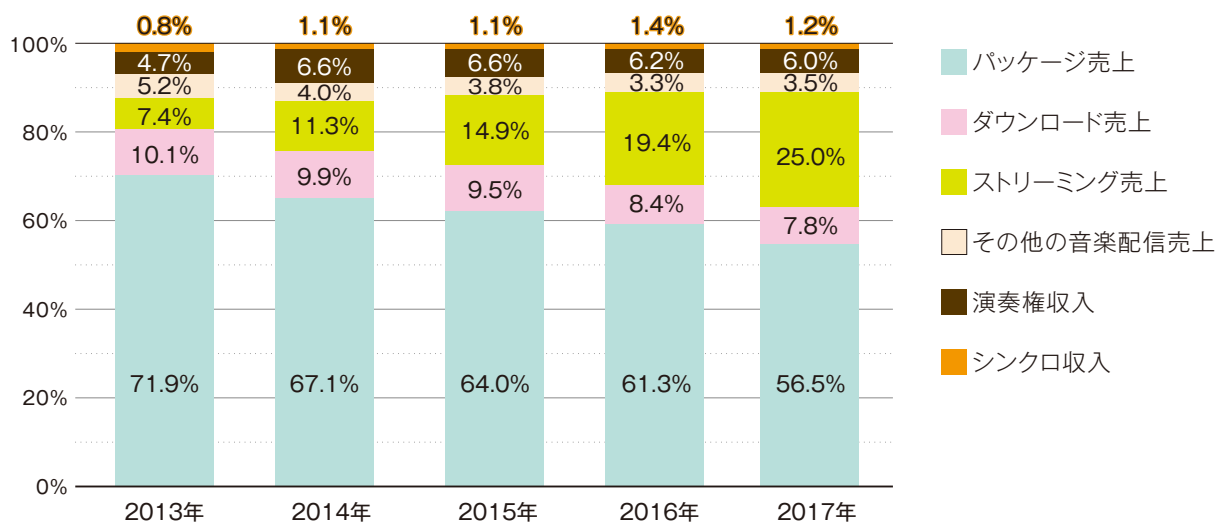
2017年の日本の国民一人当たり音楽支出は世界最高レベルだが、パッケージ売上の緩やかな減少は、諸外国のようにストリーミング売上の増加によって補われていない。日本では、2017年にストリーミング売上が増加したものの、増加率は過年度を大きく下回っている。ストリーミング総売上は前年より27.8%増加し2億6,480万ドルとなったが、2016年の68.8%増、2015年の57.8%増には及ばない。さらに、定額制オーディオストリーミングが日本では前年比20.3%増にとどまっている。ちなみに他の世界音楽市場TOP10カ国の平均成長率は前年比48.0%増である。

日本の消費者は、国内のストリーミングサービス(例えばLINE MUSIC、AWAなど)と海外のストリーミングサービス(例えばApple Music、Spotifyなど)の両方の選択肢をもっているものの、これらのサービスはいずれも日本の多数の音楽リスナーの心を掴みきれず、リスナーの大半は依然としてパッケージ商品を愛している。日本における2017年の定額制/広告型のオーディオストリーミング売上は2億4,010万ドルで、フランス(2億4,150万ドル)や韓国(2億6,220万ドル)とほぼ同規模だが、この2カ国の人口は日本よりも

■ 日本/韓国/インドの2017年音楽売上構成比



■ アジア音楽売上構成比の推移(2013年~2017年)



出典:IFPI「Global Music Report 2018」

はるかに少ない。

韓国は音楽市場TOP50カ国で最も急速な成長を遂げ、パッケージと音楽配信いずれにおいても売上を大きく伸ばした。その結果、2016年の順位では6位、7位であったカナダとオーストラリアも韓国と同様好調な伸長をみせたにもかかわらず、2017年は2016年の市場8位から6位へと順位を上げた。韓国の音楽総売上は、2016年の3億3,900万ドルから45.8%増加し、4億9,440万ドルとなった。

2017年に世界の多くの市場で見られた成長は、ほぼ全てストリーミングに起因すると言えるが、韓国の総売上増加には、53.1%(6,300万ドル)増というパッケージ売上の大きな伸びが含まれる。主な要因はCD(47.6%増となる、5,110万ドル増)とアナログレコード(124.5%増となる、1,100万ドル増)の売上増加である。

2017年の韓国におけるストリーミング総売上は、前年比47%増の2億8,160万ドルであった。定額制オーディオストリーミングの売上は前年比46.8%増の2億5,960万ドルで、ストリーミング売上増加の大半に当たる。

このように売上実績は堅調だが、韓国の演奏権収入は公衆演奏の料率が著しく低いことや、法的規制により多くのカテゴリーの音楽ユーザーが支払いを引き続き免除されているという事情によって使用料徴収を阻まれ、依然として低調である。韓国において、この部門が音楽産業の総売上に占める割合は4.1%に過ぎず、1カ国(メキシコ)を除く他のTOP30カ国を下回っている。

中国は2億9,230万ドルの売上を達成し、全世界の音楽市場TOP10カ国に初めて名を連ねた。2016年同様、売上の大半が音楽配信、特にストリーミングで生じている。ストリーミング総売上は2億450万ドルで、前年比26.5%増となった。演奏権収入はまだ比較的小さいが、IFPIは中国においてレコード製

作者と実演家の完全な公衆演奏権と放送権を求める働きかけを引き続き展開している。

インドでも音楽市場全体が成長したものの、その速度は2016年より鈍化した。2017年の総売上は前年比13.6%増の1億3,070万ドルであり、ストリーミングを中心とする音楽配信の売上が全市場の78.1%を占めている。広告型ストリーミングの2017年売上は前年比29.5%減となったが、定額制オーディオストリーミング売上が同228.0%増、動画ストリーミング売上が同434.5%増と大幅に伸長した結果、ストリーミング全体の売上は前年より60.8%増加し、8,730万ドルとなった。

オーストラリアでは市場全体の規模が前年より13.4%拡大し、4億1,290万ドルとなった。ストリーミング売上は前年より60.2%増の総額2億430万ドルとなった。伸長の大部分は定額制オーディオストリーミングで、前年比57.2%増となる5,960万ドル増の1億6,290万ドルとなった。パッケージ売上は緩やかな減少が続いており、前年比11.1%減の7,700万ドルにとどまった。ただし、アナログレコード売上については前年より58.6%増加し、1,440万ドルとなっている。

ニュージーランドの市場規模は前年より13.5%拡大し、7,150万ドルとなった。ここでも、売上増加の主要因はストリーミングで前年比39.1%増の4,360万ドルに達し、2016年に続いて前年比17.1%減の1,030万ドルにとどまったパッケージ売上の減少を補った。

「芸術体験ひろば」開催

5月5日、東京・西新宿の芸能花伝舎にて「芸術体験ひろば」が開催された。同イベントは、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）並びに新宿区が主催し、芸団協の会員団体協力のもと、さまざまな芸能を体験できる場として毎年子どもの日に実施しているもので、当協会も著作権啓発リーフレットやエルマークンノベルティの配布を行った。

当日は、こどもの日の開催にちなんで、全国各地から寄付いただいた鯉のぼりが会場一面にはためくなか、「にほんの楽器、お囃子体験」「ファミリー寄席」「楽器を作って音にさわろう!」など、0歳から大人まで楽しめる36の芸術体験プログラムがいたるところで催され、笑顔で参加する親子連れなど、終日多くの人出で賑わいをみせていた。



ACA「ほんと?ホント!フェアin秋葉原」開催

5月6日、東京都千代田区のベルサール秋葉原にて、当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)と今年度より共催となる一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)の主催による「ほんと?ホント!フェアin秋葉原~海賊版は買わない!偽ブランド・偽キャラクターグッズは買わない!海賊版サイトは見ない!~」が開催された。

本イベントは、知的財産の保護と不正商品の排除を広く消費者に訴えることを目的として、全国で定期的に開催されている。当協会は、同イベント内の「ホンモノ・ニセモノ比較展示」において音楽パッケージの真正品・模倣品の提供や、著作権教育啓発用リーフレットの配布を行った。

今回は、人気漫才コンビ「南海キャンディーズ」が「不正商品撲滅応援隊長」に、アイドルグループ「わーすた (THE WORLD STANDARD)」が「不正商品撲滅応援隊員」に任命され、知的財産の重要性について語ったほか、それぞれミニライブも行われた。ほかにも、日中韓文化コンテンツ産業フォーラムPR映像の上映や、クイズ、アンケートも行われ、訪れた2,000人の来場者は楽しみながら知的財産の重要性に関心を寄せていた。



RIS規格の概要

1. RIS規格とは？

RISは「Record Industrial Standard」の略称であり、本規格は消費者利益の保護や公平性の確保、権利者の権利擁護、技術進歩の促進、生産・流通の効率化や合理化などレコード産業に資する必要な事柄を中心に、音楽商品や音楽コンテンツの標準化を目的とした当協会の定める団体規格である。

RIS規格はあくまでも自主規格であって「推奨規格」であり、一部に国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission、以下IEC)および国際標準化機(International Organization for Standardization、以下ISO)の規格に準拠するものもある。IEC/ISO規格の改定に伴うものや当協会の所管委員会から発議されたものが対象となる。

2. 種類一覧

当協会の運用するRIS規格および運用基準は以下の通り。

なお、一部の規格については、当協会ホームページ(<http://www.riaj.or.jp/f/issue/ris/>)よりPDFにて閲覧可能。

■日本レコード協会規格「RIS(Record Industrial Standard)」

規格番号	規格名称	制改年月日			
RIS102	レコード用プログラム交換テープ	1979.03.27	RIS307	カセットテープレコード用附属品	1982.06.25
RIS103	音声信号用キャノン型コネクタ	1982.03.26	RIS309	DCC用附属品(暫定)	1993.09.02
RIS104	CD用マスターテープ運用基準	1992.04.24	RIS401	光学式ビデオディスク用附属品	1992.06.04
RIS105	CD用CD-Rマスタ運用基準	1994.06.02	RIS402	ビデオテープレコード用附属品	1985.10.25
RIS201	ディスクレコード用ジャケット及び附属品	1982.03.26	RIS403	DVDビデオの表示事項及び表示方法	2001.11.21
RIS202	アナログディスクレコードの表示事項及び表示方法	1999.03.23	RIS403別紙	総額表示適用に伴うRIS403の価格表示参考例の追加・変更	2004.02.13
RIS203	コンパクトディスク用附属品	1998.07.28	RIS501	オンラインデータ交換基準フォーマット構成	1986.10.15
RIS204	オーディオCDの表示事項及び表示方法	2002.09.03	RIS502	レコード商品番号体系	2005.12.16
RIS204別紙	総額表示適用に伴うRIS204等の価格表示参考例の変更	2003.04.23	RIS503	国際標準レコーディングコード	2004.01.30
RIS205	再生専用ミニディスク用附属品(暫定)	1993.03.15	RIS504	レコード商品マスタ用オンラインデータ交換フォーマット	1994.09.28
RIS206	DVD専用ジュエルケース附属品(暫定版)	1996.10.11	RIS505	ISRC管理運営規程	2009.03.13
RIS306	オーディオカセットテープレコードの表示事項及び表示方法	1998.01.27	RIS505別冊	ISRC運用基準 2009年度版	2009.03.13
			RIS506	レコード用文字符号	1996.11.12

■運用基準(RIS規格に準じるもの)

規格名称	制改年月日		
DVDトールケース用附属品に関する運用基準	2002.03.11	CD用マスタDDPファイル互換性ガイドライン	2005.10.07
複製制御CDの表示に関する運用基準	2003.10.17	Blu-ray Disc™の表示に関する運用基準	2010.11.01
DVDオーディオ追加表示事項	2003.12.12	Blu-ray Disc™の表示に関する運用基準(別紙追補)	2013.06.14
還流防止措置に係る国外頒布目的商業用レコードの表示に関する運用基準	2004.12.06		

■規格の区分

RIS100番台は、用語等基本的なもの。RIS200番台は、オーディオディスクレコード関係のもの。RIS300番台は、オーディオテープレコード関係のもの。RIS400番台は、ビデオレコード関係のもの。RIS500番台は、情報システム関係のもの。

3. よくある質問

Q1. CDやDVD等を製作する場合は、RIS規格に沿った表記をしなければならないのでしょうか？

A1. 本規格はあくまで“推奨基準”であるため、必ずしも本規格に沿って製作しなければならないものではありません。消費者の保護や権利擁護などに不備が生じないように、各社の判断で運用ください。

Q2. ホームページに記載のないRIS規格は閲覧できますか？

A2. 閲覧することが可能です。ご希望の方は当協会までお問い合わせください。

日本レコード協会規格「RIS」

URL <http://www.riaj.or.jp/f/issue/ris/>

私わたし の season2 一枚いちまい



和田 康孝

一般社団法人 日本レコード協会 理事
(日本クラウン株式会社・株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
代表取締役社長)



「Tapestry (邦題:つづれおり)」 Carole King (キャロル・キング)

二年前の三月より日本クラウン及び徳間ジャパンコミュニケーションズの代表を務めていますが、元々音楽を志してこの業界に入った訳でもなく、「私の一枚」は何なのかと常々考えたこともなかったもので、自社で発売した作品の中からその一枚を選ぶ事は本当に残念ながら無理があると思います。

さて、最初買ったレコードは確か小学校高学年の頃、なぜか洋楽で「I Want To Hold Your Hand」邦題「抱きしめたい」でした。

このレコードは当時流行していたビートルズのもので、今思うと楽曲よりもビートルズのかっこ良さど、昔はあまり見かけなかった長髪、いわゆるマッシュルームカットにあこがれて買ったものでした。それから学校の教師や親に怒られながらも地味目の長髪を続けていました。

そしてその後は中学高校とスポーツに目覚め、長髪のままラグビーに明け暮れました。

その間あまり音楽に興味を持っているとは言えませんが、そんな高校生活の終わり頃、印象に残る一枚のアルバムを手に入れました。

それを「私の一枚」とさせていただきたいと思います。

そのアルバムは、キャロル・キング「TAPESTRY」邦題「つづれおり」です。

名曲がズラリと並んだアルバムですが、あの頃、キャロル・キングの少しかすれた優しく語りかけるような歌声にすっかり魅了されてしまった事を憶えています。

何より不思議なのは、英語が得意ではない私にもすぐに理解できる説得力のような力があつたことです。

まさにあの時聴きたかった曲たちがそこに有りました。今改めて聴いても、やっぱり素晴らしいと思います。

弊社もキャロル・キングの楽曲の様に、聴く人に説得力と共感を与えられる作品を作れる様、努力を続けて行きたいものです。

Data File

2018年第1四半期 音楽配信売上実績

2018年第1四半期は、数量で前年同期比 94%の3,707万7,000ダウンロード、金額で前年同期比113%の160億7,000万円となった。

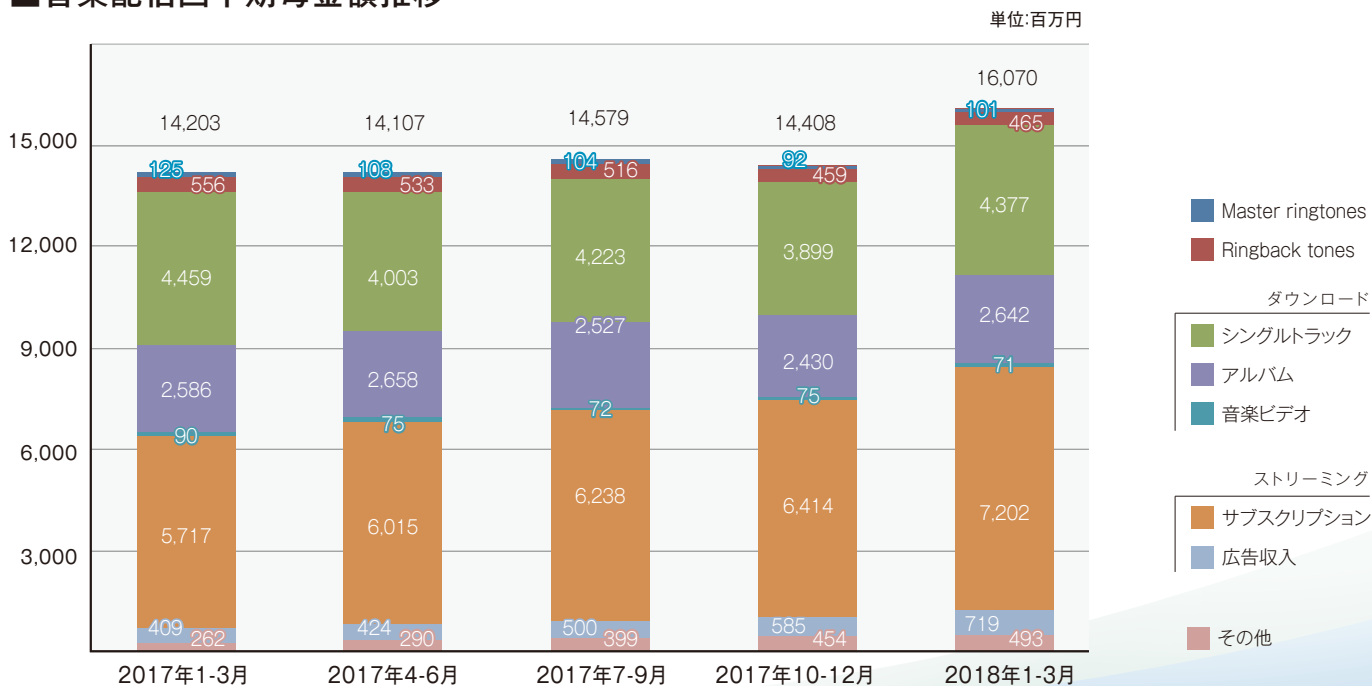
(数量:千回,金額:百万円)

	形態	2018年1月~2018年3月 累計				
		数量	前年同期比	金額	前年同期比	
	Master ringtones	982	80%	101	81%	
	Ringback tones	6,866	83%	465	84%	
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	26,580	100%	4,328	99%
		フィーチャーフォン	197	52%	49	52%
		小計	26,778	99%	4,377	98%
	アルバム	PC・スマートフォン	2,209	88%	2,642	102%
		フィーチャーフォン	0	-	0	-
		小計	2,209	88%	2,642	102%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	236	80%	68	79%
		フィーチャーフォン	6	57%	2	62%
		小計	242	79%	71	79%
	ダウンロード計	29,228	98%	7,089	99%	
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			7,060	127%	
	サブスクリプション/音楽ビデオ			142	84%	
	広告収入/音楽			60	372%	
	広告収入/音楽ビデオ			660	168%	
	ストリーミング計			7,921	129%	
	その他			493	189%	
	合計	37,077	94%	16,070	113%	

注: 数量・・・ダウンロード回数

備考 1. 本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

■音楽配信四半期毎金額推移



Monthly Production Report 2018年4月度レコード生産実績

4月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比102%の1,483万枚・巻、金額で同102%の179億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比109%の1,151万枚・巻、金額で同109%の131億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比83%の332万枚・巻、金額で同88%の48億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	4月実績						2018年1月~2018年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	2	0	101%	1	0	102%	11	0	83%	8	0	86%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	2	0	101%	1	0	102%	11	0	81%	8	0	84%
12cmCD シングル	邦	2,865	25	73%	2,353	18	71%	14,903	34	96%	12,123	24	100%
	洋	4	0	9%	4	0	9%	16	0	19%	13	0	18%
	計	2,870	25	72%	2,357	18	71%	14,918	34	96%	12,136	24	99%
シングル 計	邦	2,867	25	73%	2,354	18	71%	14,914	34	96%	12,131	24	100%
	洋	4	0	9%	4	0	9%	16	0	19%	13	0	18%
	計	2,872	25	72%	2,358	18	71%	14,930	34	96%	12,144	24	99%
12cmCD アルバム	邦	7,178	62	146%	9,072	69	130%	23,639	53	85%	31,344	63	85%
	洋	1,286	11	88%	1,390	11	99%	5,035	11	89%	5,298	11	94%
	計	8,463	74	133%	10,462	80	124%	28,674	65	86%	36,642	73	86%
CD計	邦	10,045	87	114%	11,425	87	111%	38,553	87	89%	43,475	87	88%
	洋	1,290	11	85%	1,395	11	96%	5,050	11	88%	5,311	11	93%
	計	11,335	98	110%	12,820	98	109%	43,604	98	89%	48,786	98	89%
アナログ ディスク	邦	36	0	119%	70	1	138%	216	0	116%	422	1	134%
	洋	70	1	157%	126	1	177%	170	0	118%	305	1	120%
	計	106	1	141%	195	1	161%	385	1	117%	726	1	128%
カセット テープ	邦	40	0	66%	29	0	60%	175	0	77%	138	0	73%
	洋	0	0	30%	0	0	21%	1	0	27%	1	0	43%
	計	40	0	65%	30	0	59%	175	0	76%	139	0	72%
その他	邦	19	0	106%	35	0	111%	46	0	97%	79	0	102%
	洋	12	0	42%	23	0	43%	85	0	115%	179	0	122%
	計	30	0	67%	58	0	68%	132	0	108%	258	1	115%
合計	邦	10,140	88	113%	11,559	88	111%	38,990	88	89%	44,114	88	89%
	洋	1,372	12	87%	1,544	12	97%	5,306	12	89%	5,796	12	95%
	計	11,512	100	109%	13,104	100	109%	44,296	100	89%	49,909	100	89%

音楽ビデオ

	4月実績						2018年1月~2018年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	2,506	75	76%	1,921	40	53%	12,233	76	92%	14,420	56	111%
	洋	29	1	61%	37	1	47%	136	1	65%	167	1	43%
	計	2,535	76	76%	1,957	41	53%	12,369	77	91%	14,587	56	109%
ブルーレイ ディスク	邦	742	22	115%	2,834	59	166%	3,681	23	136%	11,205	43	160%
	洋	43	1	243%	35	1	48%	108	1	187%	140	1	76%
	計	784	24	118%	2,869	59	161%	3,788	23	137%	11,345	44	158%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	60%	1	0	60%
	洋	3,248	98	82%	4,754	99	89%	15,914	98	99%	25,625	99	128%
	計	3,248	98	82%	4,754	99	89%	15,914	98	99%	25,625	99	128%
合計	邦	72	2	110%	72	1	47%	244	2	92%	307	1	54%
	洋	3,319	100	83%	4,826	100	88%	16,158	100	99%	25,933	100	126%
	計	3,319	100	83%	4,826	100	88%	16,158	100	99%	25,933	100	126%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	4月実績						2018年1月~2018年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	11,512	78	109%	13,104	73	109%	44,296	73	89%	49,909	66	89%	
音楽ビデオ計	3,319	22	83%	4,826	27	88%	16,158	27	99%	25,933	34	126%	
合計	邦	13,387	90	104%	16,314	91	104%	54,904	91	92%	69,739	92	100%
	洋	1,444	10	88%	1,616	9	93%	5,550	9	89%	6,103	8	91%
	計	14,831	100	102%	17,930	100	102%	60,454	100	91%	75,842	100	99%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	4月実績						2018年1月~2018年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	5,129	71	81%	5,059	44	73%	22,505	74	79%	27,117	52	92%
ブルーレイディスク	2,051	29	125%	6,488	56	135%	7,867	26	109%	24,640	48	116%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	67%	1	0	65%
合計	7,181	100	90%	11,547	100	98%	30,373	100	85%	51,758	100	102%

オーディオ/ビデオレコード合計

	4月実績						2018年1月~2018年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	11,512	62	109%	13,104	53	109%	44,296	59	89%	49,909	49	89%
ビデオレコード計	7,181	38	90%	11,547	47	98%	30,373	41	85%	51,758	51	102%
合計	18,692	100	101%	24,650	100	104%	74,669	100	87%	101,668	100	95%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

ミリオン	シンクロシティ	乃木坂46	2018.04.25	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
プラチナ	欲望者	NMB48	2018.04.04	よしもとミュージックエンタテインメント(laugh out loud! records)
ゴールド	春はどこから来るのか?	NGT48	2018.04.11	ソニー・ミュージックレーベルズ(アリオラジャパン)
	Ask Yourself	KAT-TUN	2018.04.18	ジェイ・ストーム
	a kind of love	超特急	2018.04.04	SDR

アルバム | 邦楽

プラチナ	Yummy!!	Kis-My-Ft2	2018.04.25	エイベックス・エンタテインメント
	FACE YOURSELF	BTS (防弾少年団)	2018.04.04	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	魚凶鑑	サカナクション	2018.03.28	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	SHINee THE BEST FROM NOW ON	SHINee	2018.04.18	ユニバーサル ミュージック
	BEST All Singles & Covers Hits	BENI	2014.06.11	ユニバーサル ミュージック
	ユーミンからの、恋のうた。	松任谷 由実	2018.04.11	ユニバーサル ミュージック
	BIG YELL	ゆず	2018.04.04	セーニャ・アンド・カンパニー

ビデオ | 邦楽

ゴールド	GENERATIONS LIVE TOUR 2017 MAD CYCLONE	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2018.02.28	エイベックス・エンタテインメント
	LIVE TOUR 2017 The ONES	V6	2018.03.14	エイベックス・エンタテインメント

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

ミリオン	ビリーヴ	シェネル	2012.06.20	ユニバーサル ミュージック
	Lemon	米津玄師	2018.02.12	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
トリプル・プラチナ	Hero	安室 奈美恵	2016.07.27	エイベックス・エンタテインメント
ダブル・プラチナ	道	GReeeeN	2007.01.17	ユニバーサル ミュージック
	君がいるだけで	米米CLUB	2005.10.19	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
プラチナ	here comes my love	Mr.Children	2018.01.19	トイズファクトリー
	LOSER	米津玄師	2016.09.28	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	orion	米津玄師	2017.02.15	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	灰色と青 (+ 菅田将暉)	米津玄師	2017.10.11	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
ゴールド	Hope(from BEST AL「Finally」)	安室 奈美恵	2018.02.11	エイベックス・エンタテインメント
	Over the clouds	alan	2010.02.03	エイベックス・エンタテインメント
	ガラスを割れ!	樺坂46	2018.03.07	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	Here	JUNNA	2017.11.01	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	美しく燃える森	東京スカパラダイスオーケストラ	2002.06.01	エイベックス・エンタテインメント
	LOVER	AAA	2015.07.22	エイベックス・エンタテインメント
	YOU GET TO BURNING	松澤 由美	2012.06.27	キングレコード
	Flowerwall	米津玄師	2015.01.14	ユニバーサル ミュージック
	かもめが翔んだ日	渡辺 真知子	2003.12.24	ソニー・ミュージックダイレクト
	TRAIN	ONE☆DRAFT	2010.03.31	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)

シングルトラック | 洋楽

ゴールド	ザ・ファイナル・カウントダウン	ヨーロッパ	2003.12.03	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル)
------	-----------------	-------	------------	--

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた@、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)
備考 1. 着うた@のみダブル・プラチナ以上を顕彰
2. 「着うた@」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

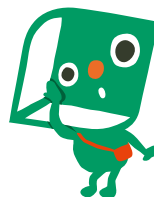
特集でも紹介しましたが、IFPI発表の世界音楽市場は2017年に前年から8.1%の成長を遂げ、1997年の調査開始以来最高水準の伸び率となりました。この伸長を牽引したのが売上構成で最大の割合を占めたストリーミングサービスによる収入です。日本ではその割合は10%に満たない状況ではありますが、こちらも今号に掲載した2018年第一四半期音楽配信売上ではストリーミングがダウンロードの売上を上回るなど、徐々にその存在感を増しています。ネックの一つとされていた対応楽曲数についても様々なアーティストのサブスク解禁が続き、カタログの増強とともに更なる利用が見込めるのではないのでしょうか。ところで、各サービスに表示されるプレイリスト名には目を引くものも多く、気になって覗いてしまいます。自分で使う分にはプレイリスト名を作成した日付にしてしまうのですが、時にはユニークに楽曲紹介できるものを作ってみたいです。(M)

THE RECORD No.703 2018年6月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2018年6月11日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<http://www.riaj.or.jp>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンシル



エルマークキャラクター
エルマーくん